

## 北海道別海高等学校の行動計画（グローカル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和7年度に重点化する取組及び具体的な方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I <b>グローカル教育で人材を育てる学校</b>	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1)授業や行事等のねらい、目標の見直しをおこない、目標達成に向けて自ら考え行動できる態度を育成する。 (2)地域のニーズに合った生徒の育成し、地域で活躍できる人材を育成する。	(1)行事終了後の反省会は随時開催できた。しかし、計画から反省・改善までを生徒主体で行うことができなかった。 (2)農業技術検定や情報処理検定等についての学習会を実施することができた。	(1)教員がサポートする場面が多いため、計画に要する時間を多く設定することや教員の指導時間を確保する必要がある。そのため、時間予定の見直しや行事の精選をしていく必要がある。	3
	2 「世界と日本をつなぐグローカル教育」を行います。	(1)海外視察研修をとおして、国際的な視野を醸成し、海外の農業と国内農業の違いを理解させるとともに、それを生かした酪農経営を推進できる学習を実施する。	(1)海外研修の参加者がいなかつたため、実施していない。	(1)参加の有無にかかわらずに海外の農業や酪農について学ぶことができる代替案を考える必要がある。	1
II <b>地域社会・産業に寄与する学校</b>	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1)地域農業や地域特性についての学習をとおして、地域活性化に必要な事柄を探究し、関係機関等との連携を図り、実施していく。	(1)プロジェクト学習において廃菌床の活用に関する研究を実施している。また、別海町役場と連携し、本校で栽培している野菜を道の駅の食材として提供する計画を立てている。	(1)活用できる条件をどのように地域に普及していくか。また、農家の作業体系に合うように作業時期等も検討していく必要がある。 (2)数量や予算など継続的に食材として対応できるようと考える必要がある。	3
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1)プロジェクト学習の取組を工夫・充実させ、地域農業の課題解決に向けた学習に取り組む。 (2)保幼小中学校との連携事業を行い、食農教育の充実を図るとともに、将来の地域産業を担う人材を育成する。	(1)研究活動により、持続可能な農業に関する研究、地域の生乳を活用した加工品の製造に関するプロジェクト学習を実施することができた。 (2)新たな出前授業を実施することができた。また、高校生が先生役として座学や実習などを実施した。	(1)研究したことを現場にどう普及・啓発していくか考える必要がある。また、地域の企業や関連企業との連携も密にしていく必要がある。 (2)出前授業の内容がマンネリ化しないような工夫をしていく必要がある。	3
III <b>地球環境を守り創造する学校</b>	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1)3年間をとおして植樹事業を実施し、国土保全や環境創造に関する態度を造成する。 (2)プロジェクト学習や授業をとおして、地域の環境に関する課題解決に向けた教育を推進する。	(1)北海道開発局と連携し、全年で苗木の播種から鉢上げ、植樹活動を一貫して実施することができた。 (2)キノコ栽培現場から出る廃菌床の活用方法や循環型農業に関するプロジェクト学習を実施することができた。	(1)事業を継続して実施していくとともに、内容の充実を図る必要がある。 (2)プロジェクト内容の充実を図るとともに、地域への普及活動を実施していくための工夫が必要である。	3
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1)地域資源を活用した授業や実習を開き、地域交流を図り、将来地域産業を担う人材の育成を図る。	(1)別海町グリーンツーリズムネットワークとの連携を充実させ、フットバスのガイド養成や整備、歴史学習会に取り組むことができた。	(1)高校生ガイドリーダーの養成ができたため、次の世代のガイドリーダーを育成していく必要がある。	3
IV <b>地域交流の拠点となる学校</b>	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1)Society5.0とSDGsとの関係やスマート農業について理解を深め、地域農業を担う人材の育成を図る。	(1)授業において、Googleフォームを活用した授業改善や評価の一體化を図ることができた。また、Youtube等を用いて実際の映像を用いながら授業展開できた。	(1)生徒がICTを使用できる授業の展開方法や、行事の運営等にも活用できるように整備していく必要がある。	3
	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1)地域の自然災害や安全に関する教育を推進する。	(1)実習において、安全教育の充実を図ることができた。地域の自然災害については、あまり触れることができなかつた。	(1)安全教育を継続して行っていくとともに、マンネリ化しない工夫が必要である。また、自然災害の内容に触れた座学を実施していく。	2